



荒瀬 穂積 議員

### Q デジタル化はどこまで伸展しているか

A 町長

昨年、DX推進計画を策定しデジタルトランスフォーメーションの推進に取り組んでいる。

【Q1】 デジタル化で町はどのように変わるのか。

【A1】 DX推進計画では4つの基本方針を掲げ職員の仕事改革や職場環境改革に取り組む。4つの基本方針

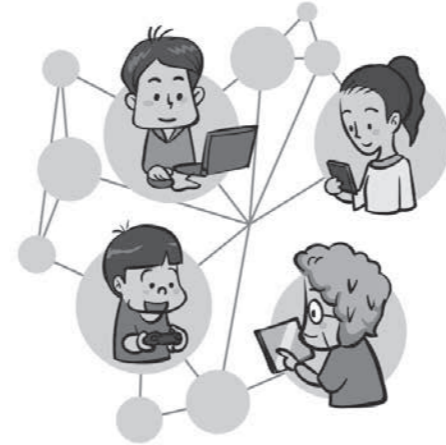
- ① 行政サービスの向上
- ② 行政運営の効率化
- ③ 地域課題の解決
- ④ 情報通信の基盤整備

【Q2】 DX推進アドバイザーの登用状況は。

【A2】 本年度、予算措置したが、派遣協定締結直前に先方が辞退された。県が実施する情報人材派遣事業の活用について相談したが、人員1名で他市へ決定済であった。

【Q3】 いい人材はいないのか。

【A3】 デジタル化推進に向け活躍いただける人材を探す。



### Q 4年前の豪雨時「避難指示」は町民に正しく伝わっていたか

A 町長

避難情報は警戒レベルなどが導入され住民に分かりやすくなった。

【Q1】 避難指示発令後、避難中に亡くなられた方もおり、それよりも「避難を止め命を守れ」という告知ができなかったか。

【A2】 国は警戒レベル5を緊急安全確保に整え、分かりやすくした。

【Q2】 避難指示発令後、避難中に亡くなられた方もおり、それよりも「避難を止め命を守れ」という告知ができなかったか。

【A3】 国は警戒レベル5を緊急安全確保に整え、分かりやすくした。

【Q3】 今のハザードマップでは1,000年に一度の浸水想定が表示されたが何か根拠があるのか。

【A4】 県からの想定が公表されたため。

【Q4】 防災計画は機関委任事務が自治事務か。

【A4】 自治事務である。



片川 学 議員

### Q 高齢者、障がい者等へのごみ出し支援の拡充を

A 町長

先進事例を参考にしながら検討する。

【Q1】 令和元年、令和3年と2回も一般質問を行っているが、要望があったにも関わらずニーズ調査をしていないのがおかしいか。

【A1】 今年度、高齢者支援課で実施する次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための65歳以上を対象としたアンケート調査の中で、「ごみ出し」の項目を検討している。

【Q2】 多様な生活形態の家庭が増加しつつある今、有償でもサービスを希望する世帯も併せて、アンケートの実施をするべきではないか。

【A2】 今すぐアンケート調査の計画がない。

【Q3】 「ほっとくま」の大型

【Q4】 ごみ等の運び出しを存じない方もいると聞いている。周知方法は、

【A3】 ケアマネ会議等で情報共有を行っている。

【Q4】 中学生を含む地域の支援、コミュニティスクールの取り組みとして実現に向けた協議を進めるとの答弁があったが教育長の考えは、

【A4】 地域学校協働活動の中で、子ども達が地域貢献をしていくことは大切なことである。可能な限り教育委員会として協力し、取り組みを進めていきたい。

【Q5】 野焼きの問題がある。刈草の収集も併せて考慮するべきではないか。

【A5】 財政的な問題もあるので総合的に勘案しながら対応したい。

### Q 個人情報の漏えいに注視し町政運営を

A 総務部長

公務員としての守秘義務を基本とした上で、職員への意識啓発を行っていく。

【Q1】 個人情報の基本的な取り扱いとは、

【A1】 役場が行う業務では必要最小限の職員が必要情報を取り扱うことを基本としている。同じ役場内、職員間であっても、業務上必要がなければみだりに個人情報を提供することがないよう、職員は常に意識しながら業務を行っている。



【Q2】 我々議員も痛切に言い聞かせておかなければならないが、私自身も個人情報の漏えいは肌で感じたこともあり、

【Q3】 コロナ禍の昨今、緩和措置も進む中で広島県にて情報が止められているはず、感染者の個人情報がどなたかの口から洩れているとしたら大きな問題だとおもうが。

【A2】 個人情報を漏らすということは、信用失墜行為となり行政の運営に多大な影響を及ぼすことになる。守秘義務の徹底については新人職員への研修や役場内での研修において引き続き取り組んでいく。

